

きのくに高校生ロボットコンテスト わなげ「WA・NA・GE」2025 ロボットコンテスト

◆競技内容

ロボット（1台）を使って輪を投げ、ポールに掛かった数で得点で競う、技術と戦略が問われる競技です。

◆競技時間

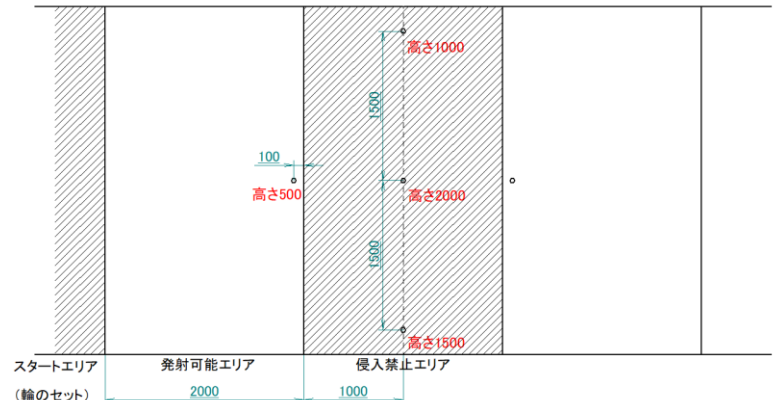
3分間で50個打つことができます。

◆チーム

1チーム2名まで（操縦者1名、補助員1名）です。

◆コート

床に、黒色のテープで、中央線から1m 3m スタートラインのラインが設置されています。
（図を参照）ポールにより 0. 5m-1点 1m-10点
1. 5m-100点 2m-1000点となっている。



◆使用部材

最大内径500mmの輪（市販・自作は問わない）を50個使用。

◆ロボット

- 1) 1チーム1台までで、必ずコートに接地していなければなりません。
- 2) ラジコン、ヘリコプター、ホバークラフト、ドローンなどは、使用できません。
- 3) サイズ・重量・電源は自由です。（ただし、ロボット搭載電源のみ使用可。）
- 4) コートなどの資材を汚す、又は傷つけるような構造は禁止です。

◆スタート

ロボットをスタートエリアにセットし、コントローラーを床に置いた状態でスタートします。スタートラインを踏んだり超えたりしてはいけません。
競技者は、スタートの条件をクリアするまでスタートすることができません。

◆リトライ

ロボットの転倒、不調、脱輪、コードの絡まりなどで動けなくなった等の場合は「リトライ」を宣言し、ロボットを回収してスタートラインから再スタートすることができます。修理・調整が必要な場合はコートの外で作業を行います。その間、競技は中断しません。

◆勝敗

全てのポールに輪を掛けた時点でコンプリートとなり勝利です。
同点の場合は、①得点の高いポールに掛かっているはずの多い方、②それでも決まらない場合は③ジャンケンで勝敗を決定します。

◆反則

次の場合は反則となり、審判が競技者に伝えます。

- ・競技エリアを故意に移動または破損させた場合。
- ・リトライ以外で競技者がロボットに触れた場合。
- ・ロボットがコートに接地していない場合。

◆失格

次の場合は失格となります。

- ・1試合中に2回反則を行った場合。
- ・反則を行った時に審判の警告に従わず、その反則行為を続けた場合。
- ・その他、審判が重大な違反行為と判断した場合。